

令和 4 年度 広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査結果概要報告

はじめに

本報告は、令和 5 年 2 月に実施した本学の留学生対象のアンケート調査「広島大学留学生の学習と生活に対する支援調査」の結果を集約したものである。

広島大学には 1,900 人以上の留学生が在籍しており(アンケート開始時点)、彼らが直面する生活・修学上の多様な課題を解決すべく、留学生支援ネットワークは定期的に連絡会議を開催し、情報共有および支援体制の構築に努めている。そこで議論される対象は多岐にわたり、効果的効率的な留学生支援のためには状況把握が重要であるという共通認識のもと、今年度も留学生に対する支援調査を実施することとなった。

本調査の内容および構成は、留学生支援ネットワークのメンバーによって作成され、本学学生向け情報ポータルサイト「もみじ」内「アンケート」機能を用い、全留学生を対象に調査を行った。

令和 4 年度の留学生支援ネットワークメンバーは以下のとおりである。

ハラスメント相談室
保健管理センター
アクセシビリティセンター
グローバルキャリアデザインセンター
学生生活支援グループ
霞地区運営支援部国際室
留学生担当教員
グローバル化推進グループ

I. アンケートの調査方法と内容

アンケート調査は広島大学に在籍する全留学生 1,938 名を対象とし、回答数は 142 名であった(回収率は約 7%)。

アンケート調査項目は日本語と英語を併記した。

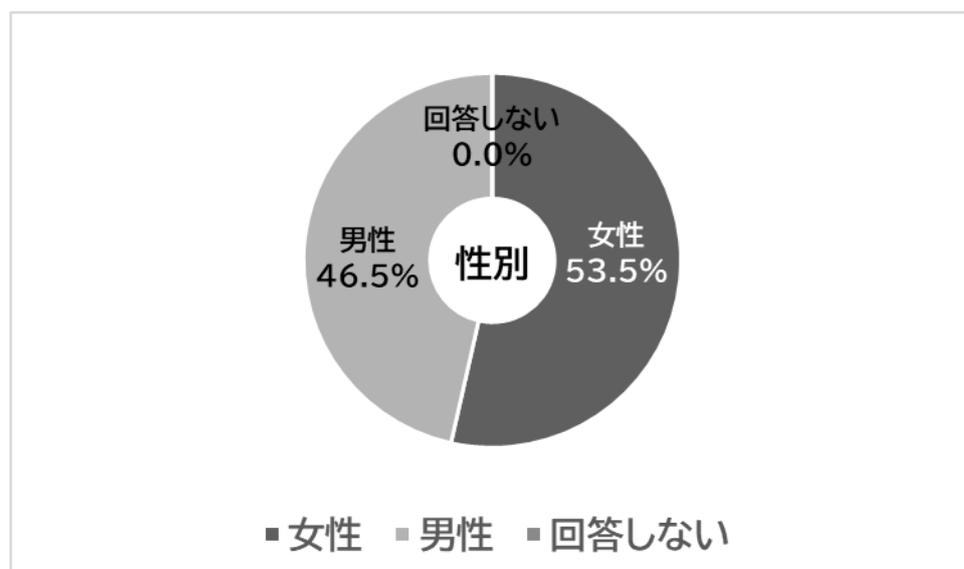
アンケートは例年とほぼ同じ項目を用いているが、昨年度アンケートに引き続き新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する設問を追加している。内容は 7 つに分かれており、1)一般的な質問、2)コミュニケーション言語について、3)広島大学と指導教員について、4) 学生生活支援について、5) 広島大学における学習、生活に関する満足度、6)新型コロナウイルス感染拡大の影響について、7)自由記述である。

回答者は、質問によって対象者が異なっていること、一部の質問に回答していないなどの無回答などもあるために、質問によって全回答者数に違いがある。

II. アンケート調査結果

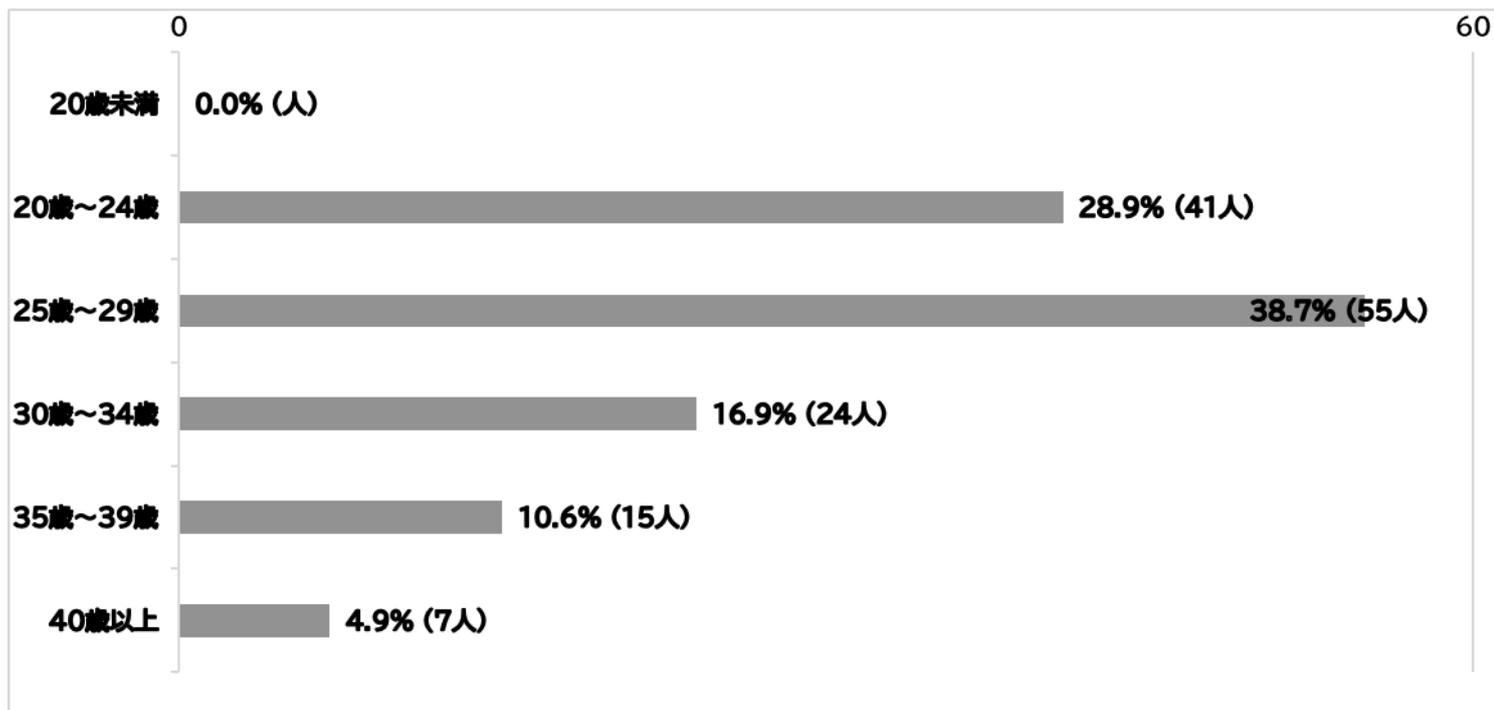
1. 一般的な質問

1.1 性別 (有効回答 142)



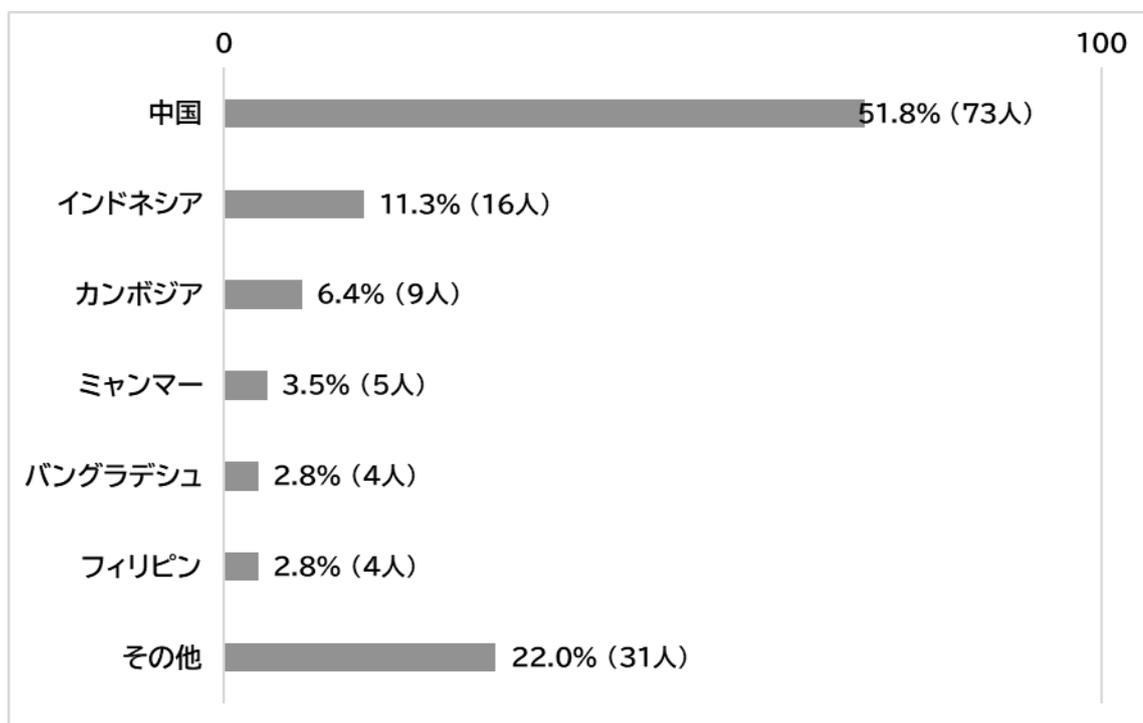
回答者の内訳は女性 76 名、男性 66 名であった。昨年度同様、男性の回答率の方がやや低い傾向にある。

1.2 年齢（有効回答 142）



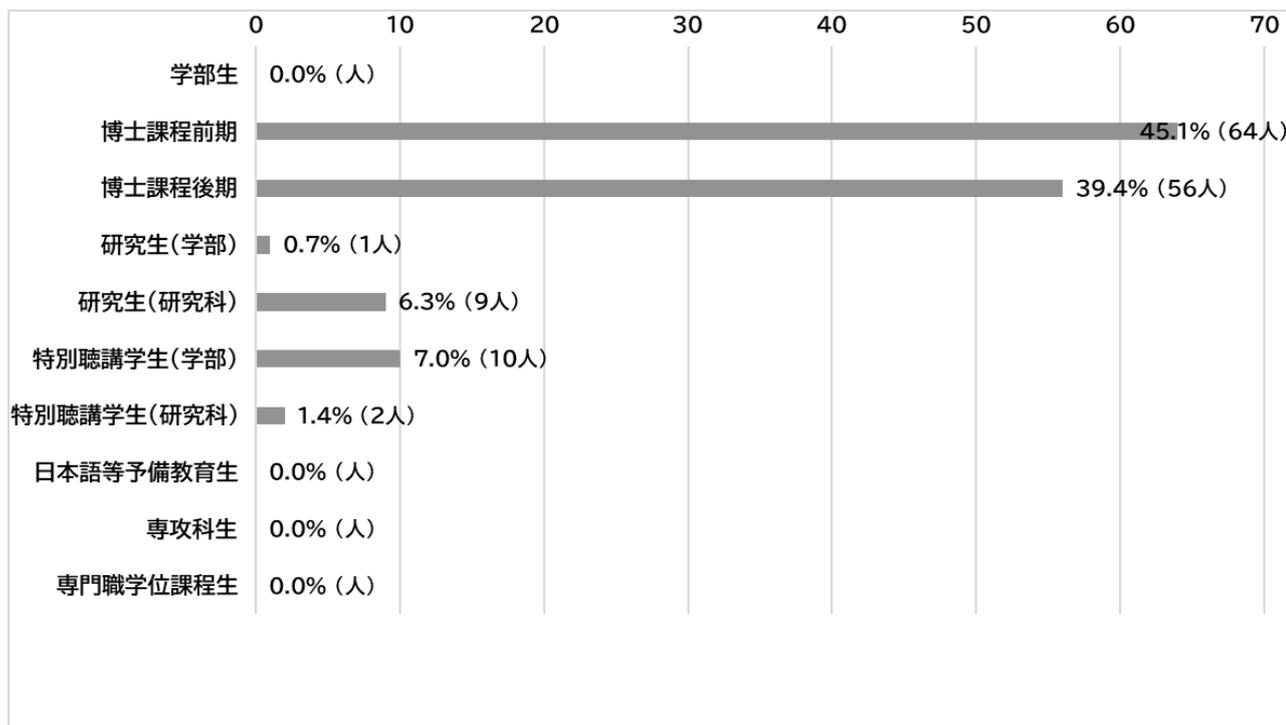
昨年度同様、20代が回答者全体の約7割を占める結果となった。

1.3 出身国・地域（有効回答 141）



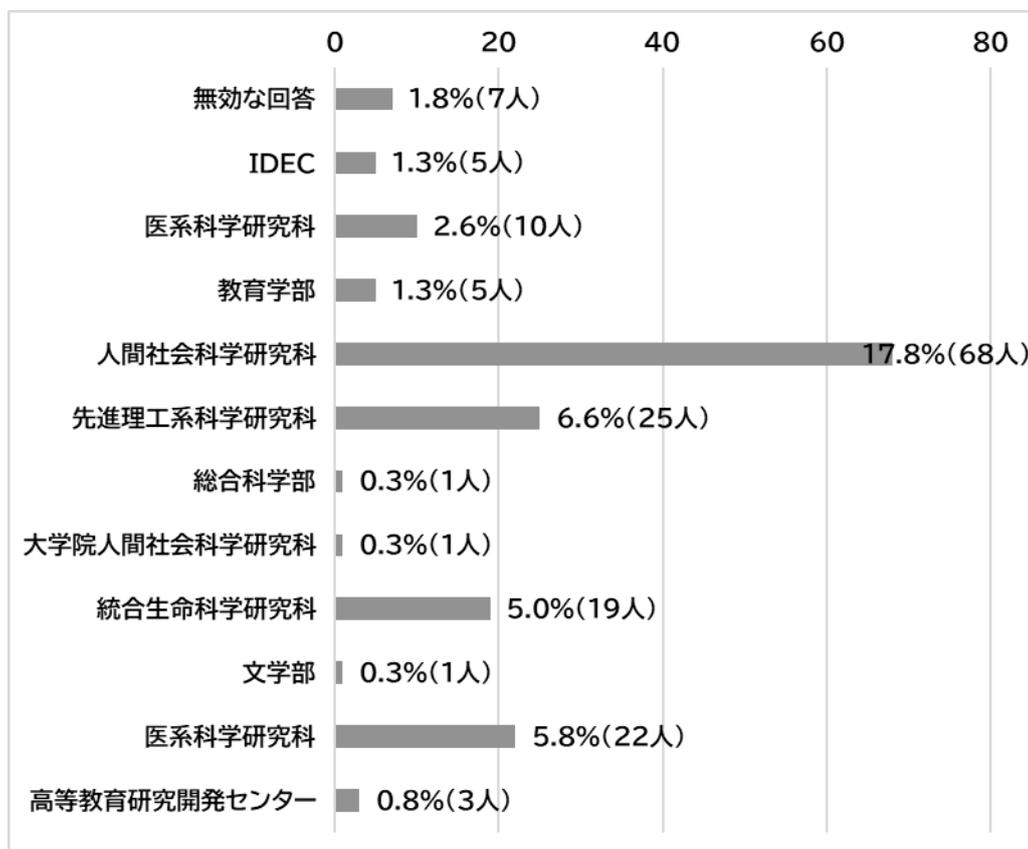
回答者のうち、東南アジア地域出身の学生が高い傾向が見られた。

1.4 学籍（有効回答 142）

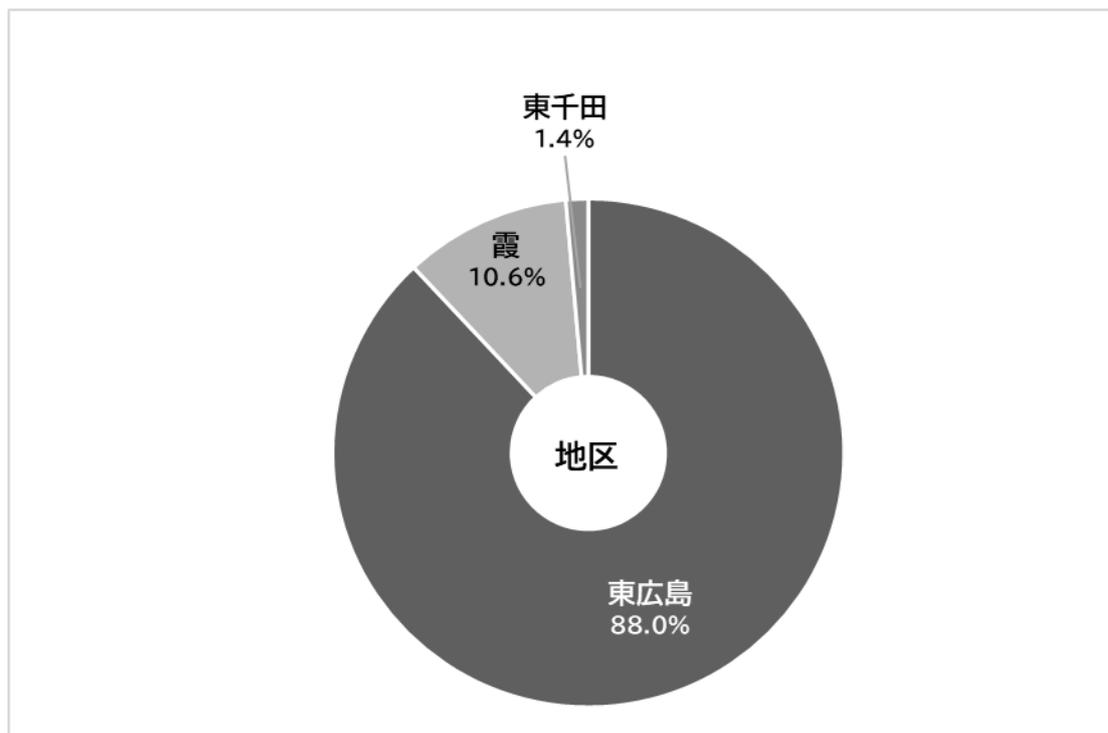


昨年度同様，全体の約 8 割が大学院学生からの回答であった。

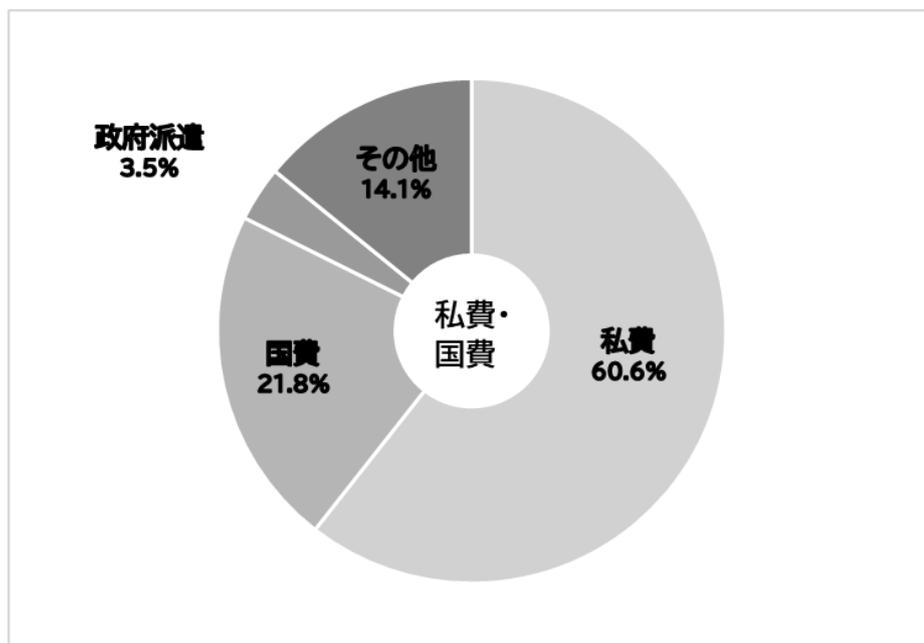
1.5 所属（有効回答 142）



1.6 地区（有効回答 142）



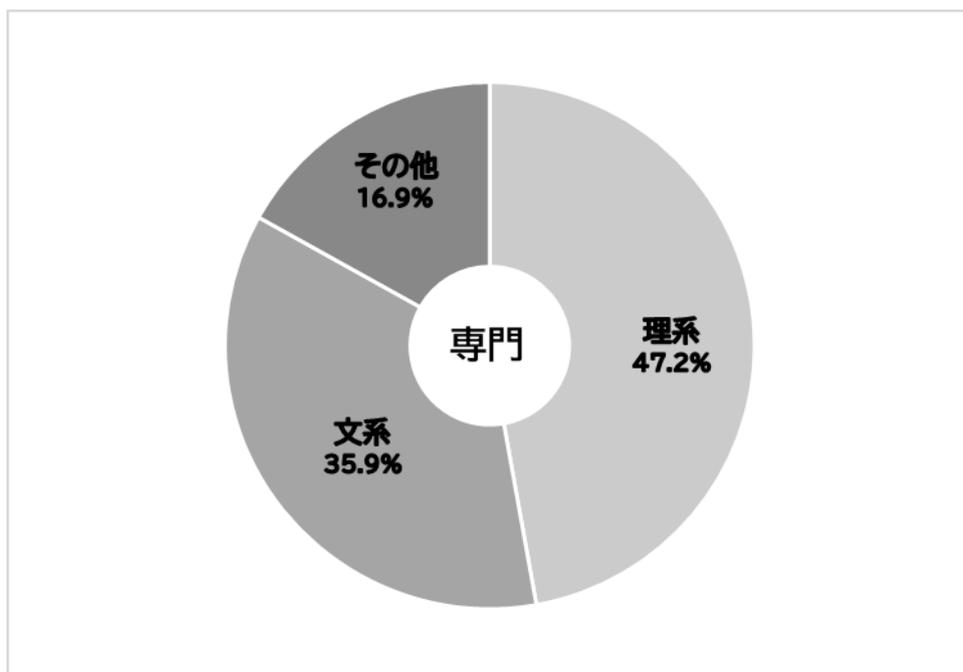
1.7 私費・国費（有効回答 142）



回答者の割合はグラフのとおり。

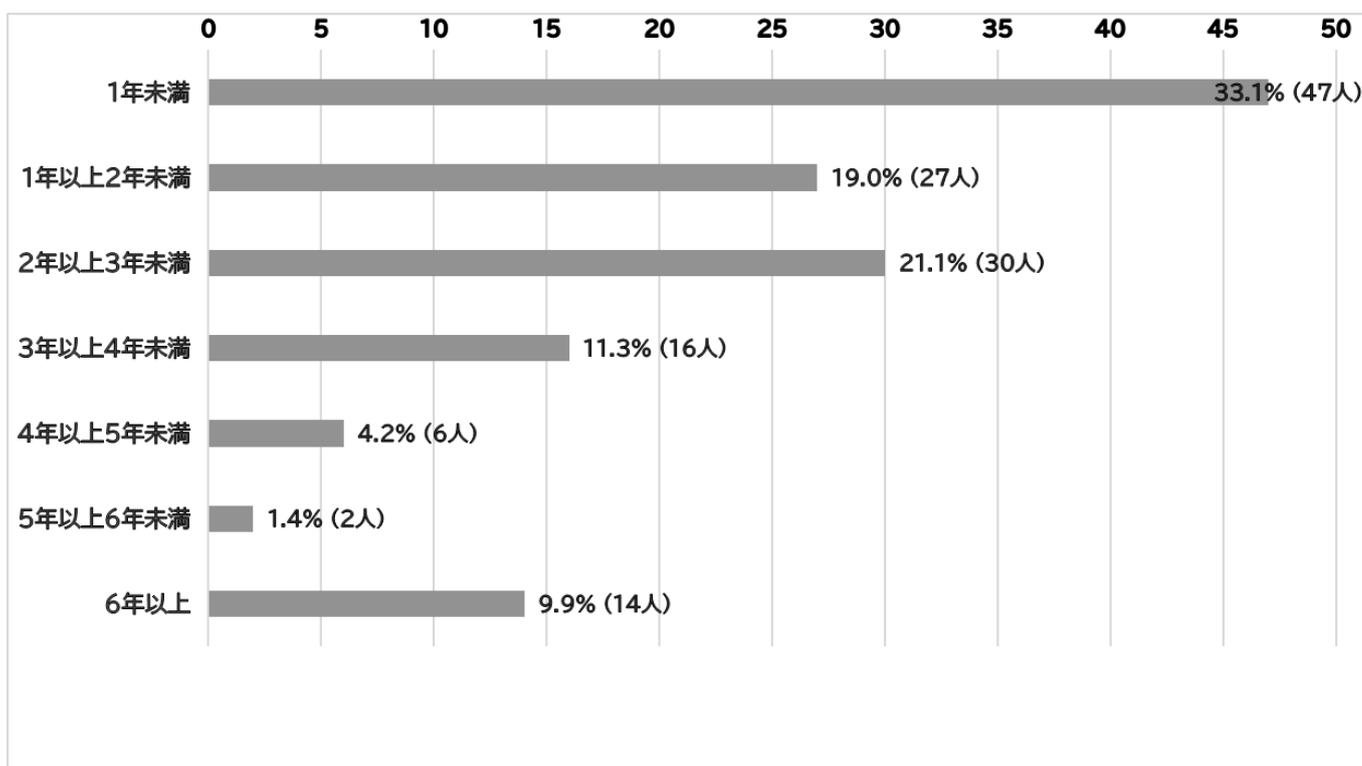
令和4年11月1日時点では、全体の約8割が私費留学生（その他奨学金を含む）、国費留学生13%、政府派遣留学生が3.7%であり、その数値と比較した場合、アンケート回答者のうち国費留学生の割合がやや高い結果となった。

1.8 専門（有効回答 142）



例年，文系の回答者が全体の約半数を占めているが，今年は理系の回答者が文系の回答者を上回る結果となった。

1.9 広島大学での在籍年数（有効回答 142）



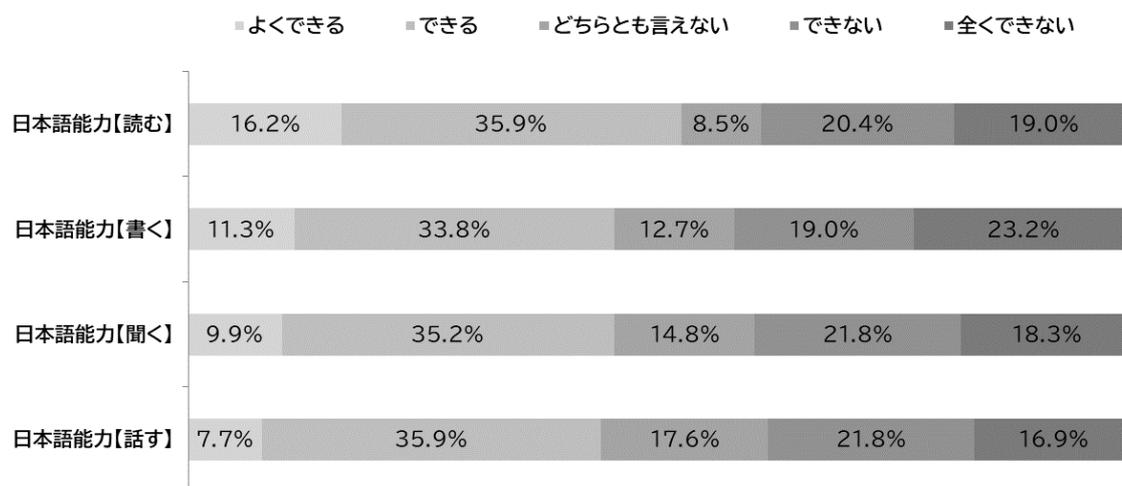
在籍年数が3年未満の回答者が全体の約7割を占めた。

過去2年間，在籍年数が3年を超える回答者が占める割合は20%程度であったのに対し，今年度調

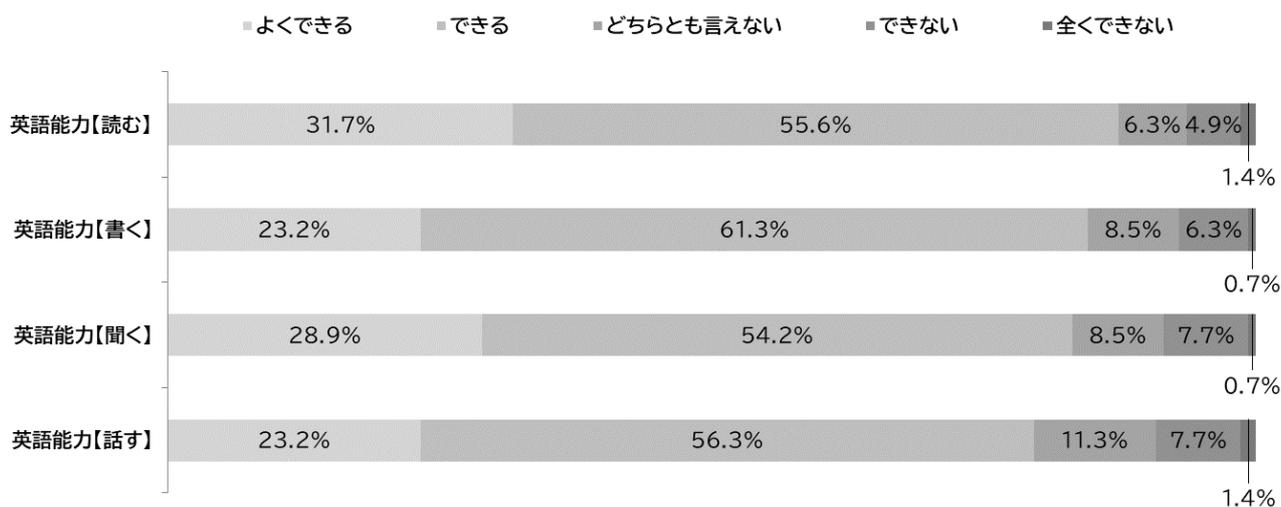
査では、在籍年数 3 年以上の回答者がおよそ 30%を占めた。とりわけ、在籍年数 6 年以上の回答者が約 10%と、過去 2 年(約 1%)と比較して大幅に上昇した。

2. コミュニケーション言語について

2.1 あなたの日本語能力はどのくらいですか？(有効回答 142)



2.2 あなたの英語能力はどのくらいですか？(有効回答 142)

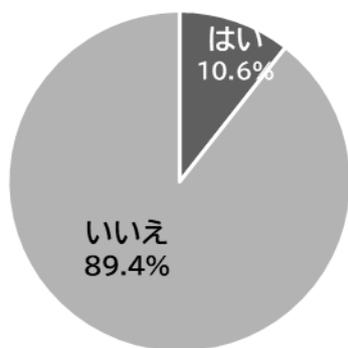


「できない」もしくは「全くできない」と答えた学生の割合は、英語においてはいずれの技能でも多くて10%程度に留まった。日本語においては、昨年度調査ではいずれの技能においても、「できない」もしくは「全くできない」と回答した回答者が30%程度であったが、今年度調査ではいずれの技能においても40%程度まで増加している。以下のグラフのうち、およそ6割の理系の回答者が、日本語のいずれの技能についても「できない」もしくは「あまりできない」と回答していることから、理系の回答者の割合が昨年度に比べ増加したことが、この結果に寄与した可能性が考えられる。

3.広島大学と指導教員について

3.1 あなたは留学フェアに参加したことがありますか？(有効回答 142)

【回答者全体】



昨年度調査同様、およそ 9 割の学生が留学フェア参加経験「なし」と回答した。留学フェアは昨年度以降、コロナ禍でのオンライン開催から、徐々に対面での開催に移行しつつあり、本学においても対面参加の機会も増えていることから、今後の推移を注視したい。

また、身分別では、特別聴講学生(16%)、博士課程後期学生(12.5%)が、留学フェア参加経験「あり」と答えた全体の割合(10.6%)を上回った。

3.2 あなたは、どんな情報をもとに広島大学を選びましたか？(複数回答可)

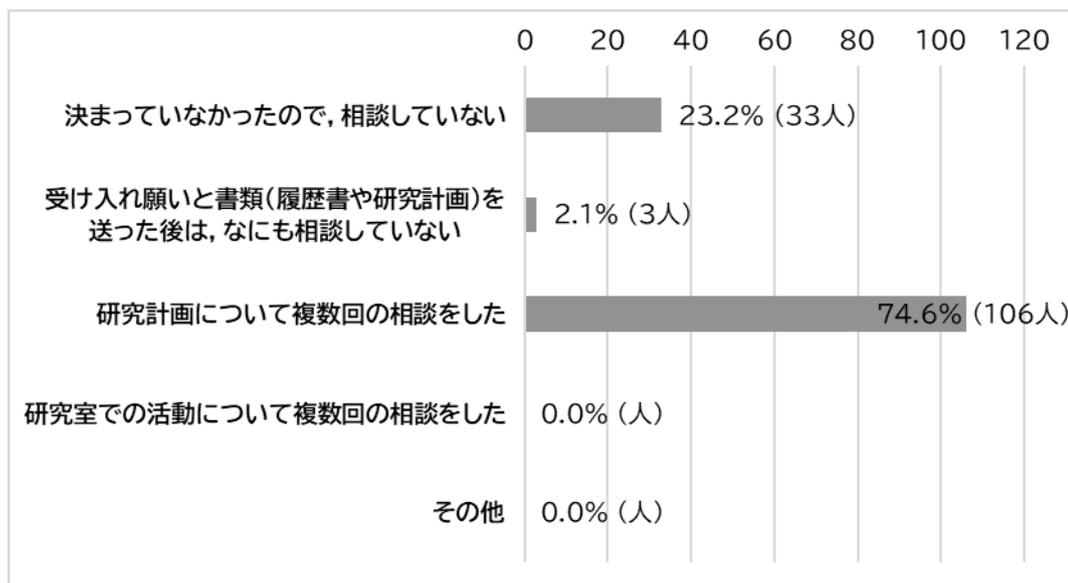
	広島大学HP		困身大学からの紹介		友人・知人からの紹介		日本留学フェアなど		その他		計 n(人)	
	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%	n(人)	%		
全体	43	30.3	30	21.1	37	26.1	5	3.5	27	19.0	142	
私費・国費	私費	31	36.0	26	30.2	19	22.1	3	3.5	7	8.1	86
	国費	7	22.6	2	6.5	11	35.5	1	3.2	10	32.3	31
	政府派遣	1	20.0	0	0.0	3	60.0	0	0.0	1	20.0	5
	その他	4	20.0	2	10.0	4	20.0	1	5.0	9	45.0	20

「友人・知人からの紹介で本学を選んだ」と回答した割合が、国費留学生で高く、昨年度の傾向と一致する。出願プロセスが特殊なため、身近に国費留学生として日本の大学に在籍している知人がいる場合等は助言等を受けやすいことから、出願に繋がっている可能性がある。

より優秀な国費留学生の獲得を目指す目的で、今後、そのような状況に身を置かない学生に対して、IAO ウェブサイト等で明確な情報提供が行われることが重要である。

3.3 あなたは来日前に指導教員とどのような相談をしましたか？(複数回答可)

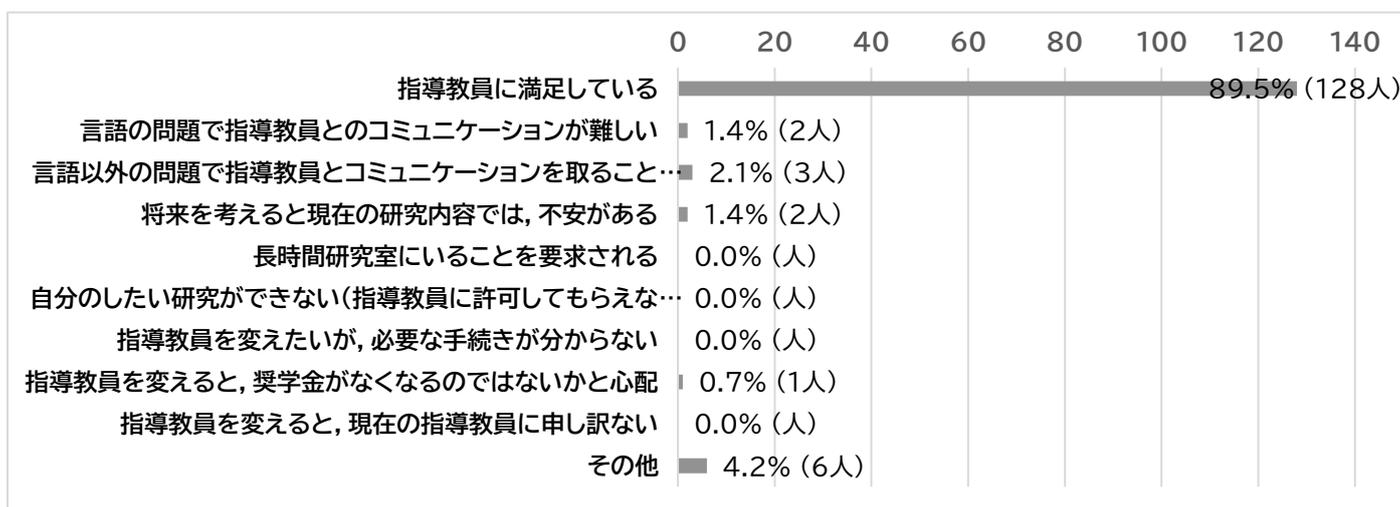
【回答者全体】



昨年度調査と比較して、「研究計画について複数回の相談をした」と回答した割合が上昇(62%→74%)している。中でも、研究生の90%(n=10)が「研究計画について複数回の相談をした」と回答しており、高い割合となっている。

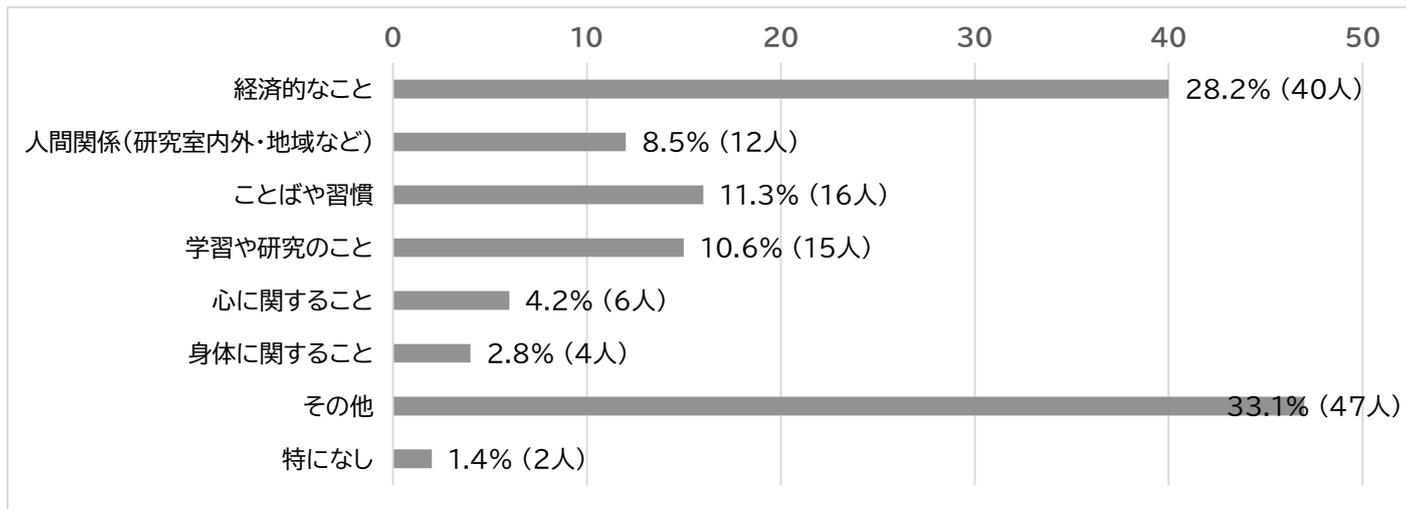
3.4 指導教員との関係において、次のうちどれがあなたにあてはまりますか？(複数回答可)

【回答者全体】



4. 学生生活支援について

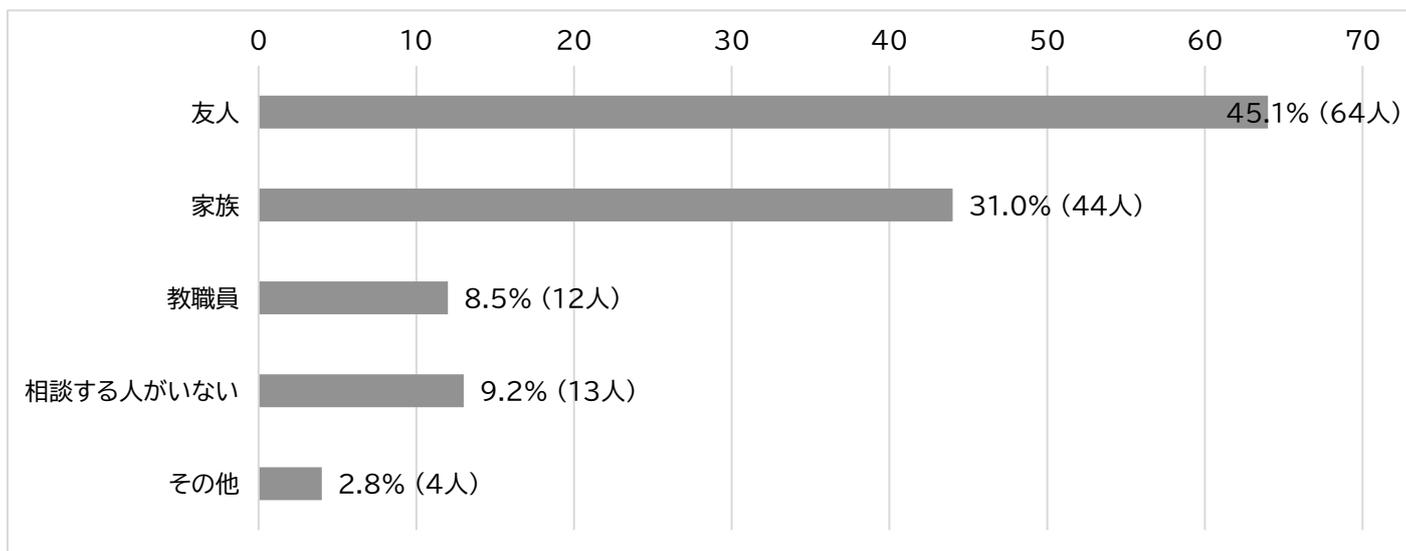
4.1 学生生活の中で困っていることがありますか？（複数回答可）



研究生において、「人間関係」「ことばや習慣」「学習や研究のこと」で困っていると答えた割合は 20% に上り、全体の割合よりも高かった。

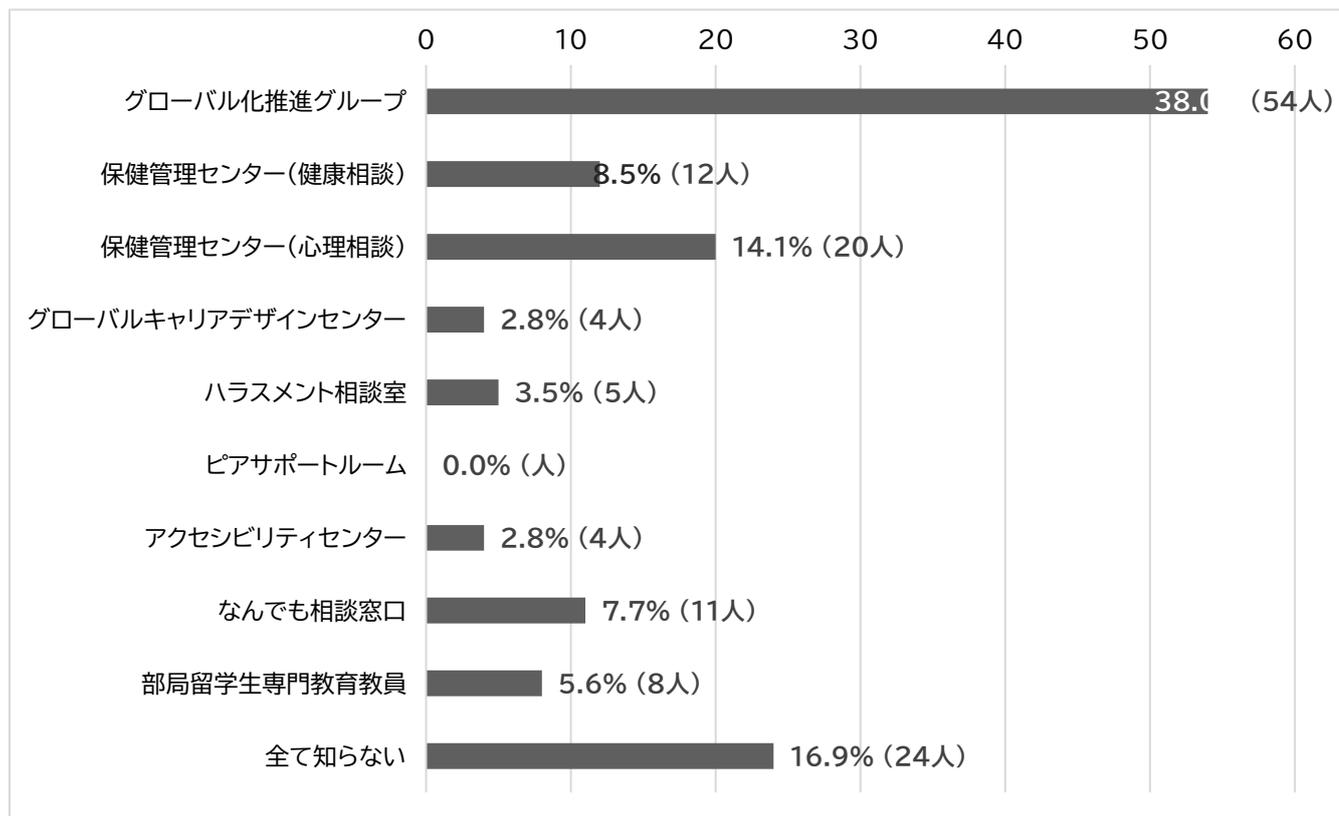
4.2 困ったことがあるときにはおもに誰に相談しますか？（複数回答可）

【回答者全体】



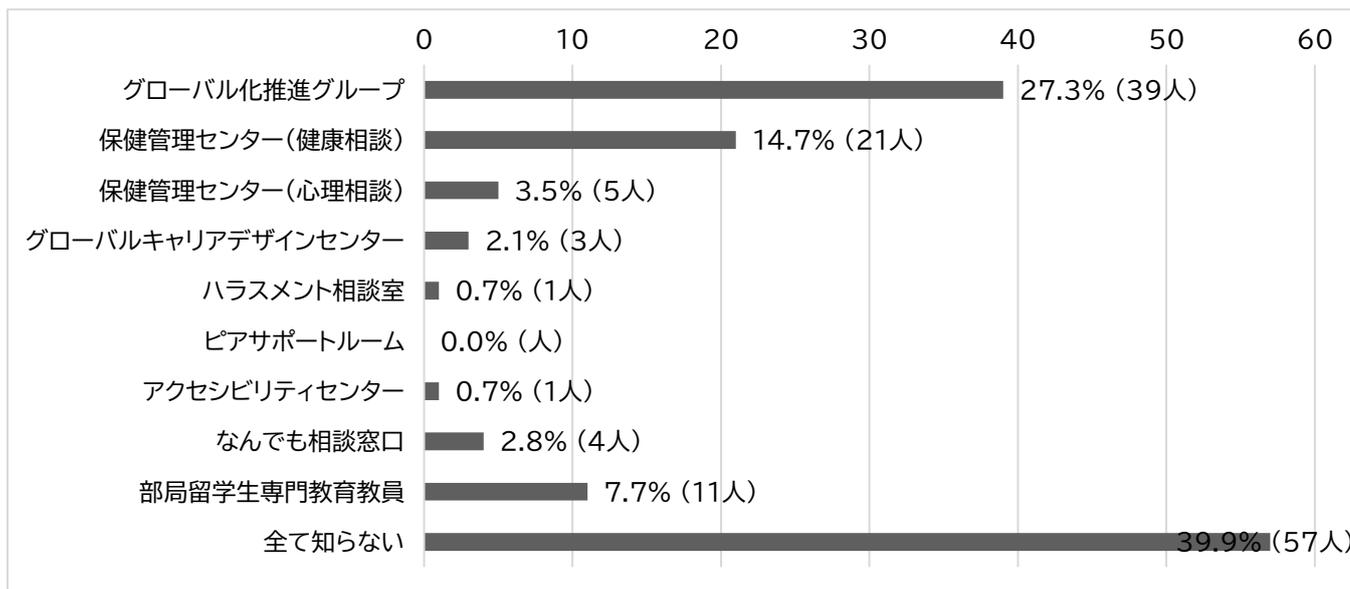
4.3 学生生活支援のための次の相談窓口があることを知っていますか？(複数回答可)

【回答者全体】



4.4 学生生活支援のための次の相談窓口を利用したことがありますか？(複数回答可)

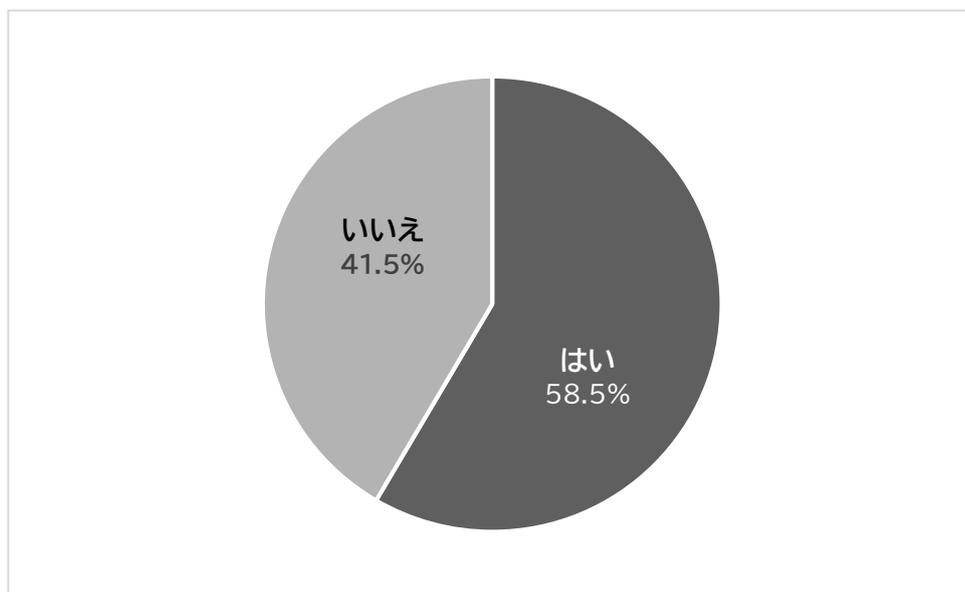
【回答者全体】



前年度調査同様、およそ 4 割の学生が「いずれの窓口も利用したことがない(全て知らない)」と回答した。各相談窓口について、渡日後オリエンテーションでの積極的な周知等を行う必要がある。

4.5 あなたは日本の企業への就職を希望していますか？(有効回答 410)

【回答者全体】



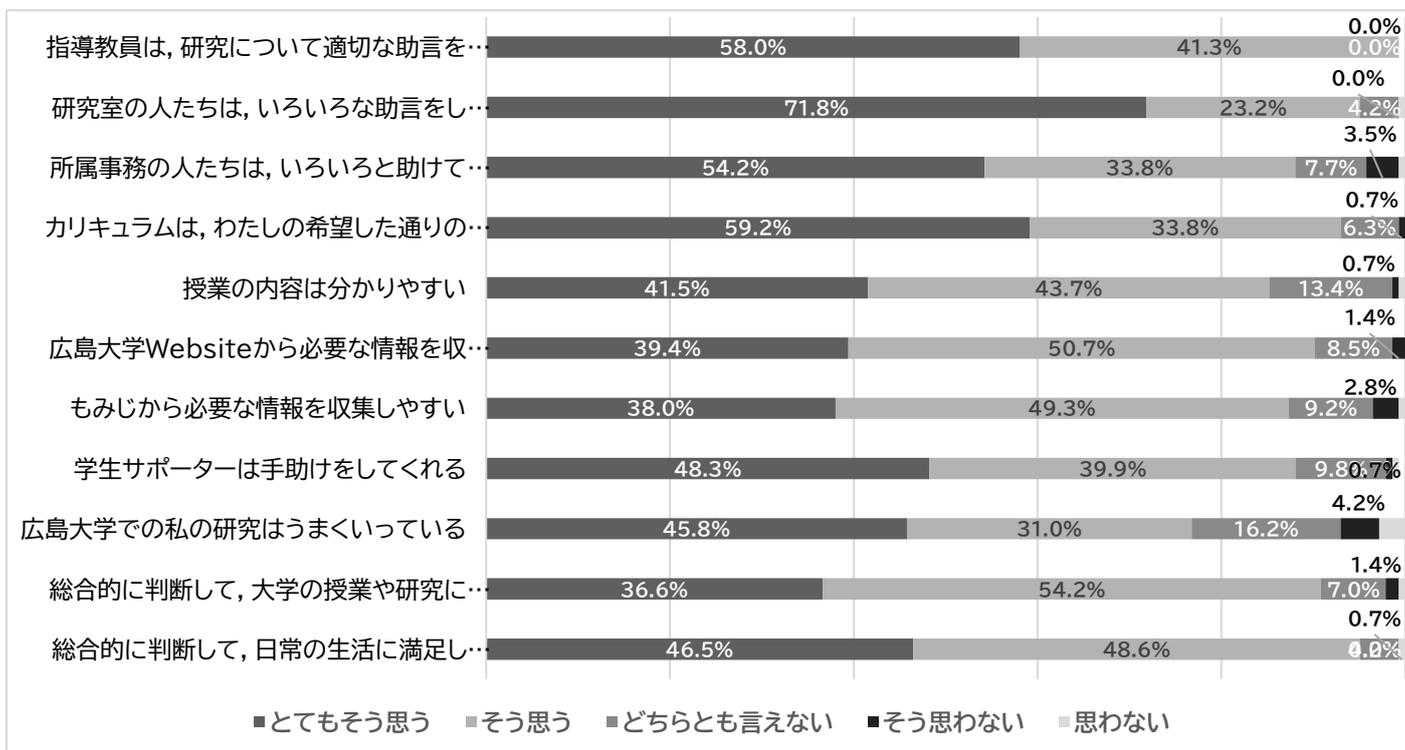
回答者全体のうち、58.5%が日本企業への就職を希望しており、昨年度の 51.2%から上昇した。数値の上下については、留学生の出身国の就職状況が影響している可能性もある。

学籍別	私費	50	58.1	36	41.9	86
	国費	23	74.2	8	25.8	31
	政府派遣	2	40.0	3	60.0	5
	その他	8	40.0	12	60.0	20

学籍別に比較したところ、国費留学生に日本企業への就職希望者が多い傾向が見られた。

5. 広島大学における学習, 生活に関する満足度

広島大学に関する以下の内容について、あてはまる回答の数字を選択してください。



留学生満足度の平均値経年比較

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
											前年度との比較 (0.05ポイント以上の変化)
指導教員は、研究について適切な助言をしてくれる	4.40	4.43	4.34	4.36	4.52	4.47	4.52	4.57	4.59	4.55	変化なし
研究室の人たちは、いろいろな助言をしてくれる	4.00	4.08	4.11	4.02	4.12	4.05	4.13	4.17	4.18	4.65	↑
所属事務の人たちは、いろいろと助けてくれる	4.21	4.25	4.32	4.34	4.35	4.31	4.36	4.32	4.38	4.37	変化なし
カリキュラムは、私の希望した通りのものである	3.73	3.75	3.89	3.96	4.03	4.01	3.98	4.06	4.16	4.51	↑
授業の内容はわかりやすい	3.76	3.76	3.88	3.84	3.93	3.99	3.91	4.08	4.15	4.25	↑
広島大学Websiteから必要な情報は収集しやすい	3.83	3.86	3.99	3.99	4.03	4.06	4.12	4.09	4.07	4.28	↑
もみじから必要な情報は収集しやすい				4.12	4.17	4.20	4.26	4.2	4.2	4.21	変化なし
学生サポーターは手助けをしてくれる	3.88	3.86	4.08	4.02	4.00	3.99	3.98	3.97	3.87	4.32	↑
広島大学での私の研究はうまくいっている	3.93	3.87	3.92	3.96	4.04	4.00	4.09	4.03	4.1	4.13	変化なし
総合的に判断して、大学の授業や研究に満足している	4.11	4.12	4.10	4.16	4.14	4.17	4.22	4.21	4.23	4.25	変化なし
総合的に判断して、日常生活に満足している	4.03	4.03	4.02	4.02	3.99	3.98	4.05	3.95	3.99	4.4	↑

近年下降していた学生サポーターへの満足度が上昇した。要因として、新型コロナウイルスの流行以降続いた入国制限が2022年に全面解除され、サポーターによる支援の恩恵を受けられた学生が多かったことが推測される。2023年度秋より、東広島キャンパスにて銀行口座開設手続の支援を開始し、渡日後サポートの更なる充実に取り組んでいる。

6. 自由記述

- 霞キャンパスでも、食堂や売店でハラルフードが購入できるとありがたい。
- 留学生、特に修士課程の留学生は、練習に参加できないため課外活動に参加することは困難であり、車がない場合体育施設を利用する機会もない。外国留学生の施設予約など体育に関する施設と援助があるとよい。
- 支援室から留学生への情報提供(奨学金の在籍確認、在留期間更新)が十分に行われていない。
- 奨学金の申請手続きが言語の問題で難しいため、サポートが欲しい。
- 学内無線 LAN がうまく使えない。
- 経済的に困窮しており、授業料の支払いや日常生活に困難をきたしている場合、どこに相談すればよいのか教えてほしい。
- 修了後の就職について心配している。

7. 自由記述(質問項目「なにか意見がありましたら、書いてください。」)

「特になし」等の回答を除き 29 名が回答。内容を以下にまとめる。

【経済的なこと】

- ・研究に専念するために、留学生向けの経済支援がもっとほしい
- ・授業料免除の申請について、入国ができないため在留カード等の書類が提出できないことを考慮してほしい。
- ・渡日ができない学生のために、海外の銀行口座にも奨学金が振り込まれる仕組みがほしい。

【人間関係】

- ・研究室の日本人学生が留学生に対して不親切である。
- ・現在の研究テーマに意欲がわかず、指導教員に相談をしたが取り合ってもらえない。指導教員が不必要なことをさせるため、時間を無駄にしている。

【新型コロナウイルス関係】

- ・水際対策により入国できない状況が続いていた場合、修了できるか疑問である。
- ・政府に働きかけをして一刻も早く留学生が入国できるようにしてほしい。また水際対策に関する情報提供をしてほしい。

【大学の支援体制】

- ・コロナ禍では多くの学生が研究に行き詰まるため、指導教員からのサポートをより手厚くしてほしい。
- ・論文のチェックについて、日本語・英語のチェック、研究指導などの支援がほしい。
- ・留学生に対し、英語でのサポートを増やしてほしい。事務スタッフとのミスコミュニケーションが発生し、書類の訂正のために何度も支援室に通わなければならなかった友人がいる。
- ・英語で開講されているプログラムに入学したにもかかわらず、ほとんどの授業が日本語で実施されてことや指導教員との人間関係に悩み、保健管理センターや留学生担当教員に相談に行ったが解決できなかった。
- ・広島大学は留学生に完全に開かれていないと感じる。もっと英語での説明を増やしてほしい。
- ・相談窓口の利用方法がわからない。

【その他】

- ・指導教員や支援室のサポートに満足している。(複数回答)
- ・食堂の食べ物をもっと安価にしてほしい。
- ・大学内にコンビニがほしい。
- ・日本と母国の時差により寝付けず、集中力が低下することがある。
- ・将来日本に戻り、博士課程後期に進学したいと考えているため、卒業後も大学と連絡を取り続けたい。
- ・多要素認証をやめてほしい。